

崖線沿いに湧水が豊富だったころの遺跡や名所・旧跡が点在し工業地域の顔を併せ持つエリア

# いたばし まちあるきマップ

## 志せしりあ



★は板橋十景です

！ 神社・仏閣の見学・拝観にあたっては、マナーを守りましょう。

**⑦延命寺** [志村1-21-12]

大永4年(1524)志村城をめぐる戦いで自分の子供が討ち死にするのを目にした見次権兵衛が、世の無常を悟り、自らの屋敷を寺としたと伝わる真言宗寺院です。境内には、区内最古の建長4年(1252)の板碑やいぼ取りの通称「消薬師」として信仰をあつめた正保4年(1647)の庚申塔があります。

**⑥見次公園** [前野町4-59-1]

昭和28年4月に開園され、面積約14,000平方メートルのうち約45%が手こぎポート池になっています。自然の湧水をたたえた見次公園は、ゆったりした時間を過ごすのに適した公園です。(4~10月 土日祝のみ)

**⑤常楽院** [前野町4-20-8]

**④熊野神社** [前野町3-38-3]

**③長徳寺** [大原町40-7]

**②南蔵院(南蔵院のしだれ桜)** [蓮沼町48-8]

江戸時代初期に創建されたと伝わる真言宗寺院で、八代将軍吉宗の鷹狩りの際の休憩所でした。境内には、承応2年(1653)に旧蓮沼村の庚申待講によって造られた丸彫り地藏の庚申塔があり、このしだれ桜は境内の不動堂などを背景として花の季節には見事な眺めとなります。

**①氷川神社** [蓮沼町48-4]

**START!**  
都営三田線  
本蓮沼駅

**⑧志村城跡と熊野神社** [志村2-16-2]

**⑨富士大山道道標・庚申塔** [志村2-7]

相模国にある大山や甲斐国・駿河国の富士山に登山、参拝する人々が通った道。この先は下練馬宿のある川越街道に出て、石神井川に向かう富士街道になります。入り口に立つ道しるべは寛政4年(1792)の造立で正面には「是より大山道井ねりま川こへみち」と刻まれています。右に立つ庚申塔は万延元年(1860)の造立で、正面には庚申塔と刻まれ、左側には、「是より富士山大山道 練馬江一里 柳沢江一里 府中江七里」とあります。

**⑩薬師の泉庭園** [小豆沢3-7-20]

八代将軍吉宗が大善寺に立ち寄りた際、境内に湧く清水を見て、この薬師像を清水薬師と命名。資料をもとに当時の庭園が復元されています。

**⑪御手洗不動** [小豆沢4-17]

**⑫水上バス小豆沢発着場** [小豆沢4-28]

新河岸川、隅田川、東京湾、荒川、岩淵水門を巡る水上バスが運行されています。(注:特定日に運行)  
乗船申込 東京水辺ライン  
電話 03-5608-8869

**⑬龍福寺** [小豆沢4-16-3]

室町時代末に袋町の真頂院の住職運珍和尚が、創建したと伝わる真言宗寺院です。境内には、平安時代に台地下にひろがっていた七々子崎という入江で発見されたとの縁起をもつ薬師如来を祀っています。建長7年(1255)の板碑など数基の板碑があって、「板碑の寺」として有名です。

**「いたばしの歴史に残る50人」より**  
おおたどうかん  
**太田道灌**

永享4年(1432)~文明18年(1486)扇谷上杉氏の家宰。西台にある圓福寺の開祖。長禄元年(1457)に江戸城を築きました。文明9年、豊島勘解由座衛門・平右衛門兄弟らと対立し、江古田原(中野区・練馬区境)で合戦となり、これを破りました。同18年、相模国中郡糟屋の館(伊勢原市)で謀殺されました。

**清水坂** [志村2-7付近]

旧中山道で最初の難所。志村の台地から荒川流域の低地に下る急坂で、途中大きく曲がっていて街道で唯一富士を右手に一望できる名所であったと言われています。名前の由来は、坂を下っていくと、街道の右側に大善寺があり、ここで八代将軍吉宗が鷹狩りの折り休憩した際、この崖からの湧き水の見事さに寺の本尊薬師如来を清水薬師と命名したことにより、やがてこの坂も清水坂と呼ばれるようになりました。

江戸時代、中山道周辺はけもの群れが駆け回り、鳥もたくさん飛び回っていました。幕府はここを将軍さまのお狩場にきめて「鳥見屋敷」という野鳥や動物を保護する役所を作りました。この役人はたえず鳥やけものエサをまいては馴れさせ、よそへ逃げさせないようにしていました。将軍さまのお狩りの時には、足もとにひそかにエサをまき、集まってくる野鳥めがけて将軍さまが矢を射るといった様子でした。そうとも知らず将軍さまは大満足、「ものども、これを見よ、余はみずから、こんなにもしめたぞ、やあ、めでたい、めでたい」と喜んでいました。当時の将軍さまの狩りとはこんなものだったのでしょね。狩りのときにつくった築山はお成塚と呼ばれ、現在でも「お成塚通り」や「お成塚橋」の地名として残っています。

錦絵「徳川十三代将軍御鷹野之図」

**出井の泉跡** [泉町24番]

崖下の湧水が泉を作り、出井川の水源の一つになっていました。江戸時代より名泉として知られており、現在でも水が湧き出ています。例年6月頃にはあじさいの花が咲き誇り美しい姿を見せてくれます。

**純国産写真フィルム発祥の地** [小豆沢3-9]

小豆沢一帯は以前、大日本セルロイド株式会社(現ダイセル)があり、セルロイドを利用して写真用のロールフィルムを製造する部門を設け、昭和6年に試験生産を始めました。その後、富士フィルムが独立。フィルムベースから一貫して生産したのは富士フィルムが初めてで、まさに純国産フィルム発祥の地です。これを記念して立てられたモニュメントは卵が孵化する直前の姿をイメージしたものです。

**エコポリスセンター**

エコポリスとは人と環境が共生する都市のこと。環境に配慮した地域にやさしいライフスタイルの普及・促進をはかるための様々なコーナーや資料が充実しています。

所在地 前野町4-6-1  
開館時間 9時~17時  
休館日 第3月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始  
電話 03-5970-5001

**⑭小豆沢神社** [小豆沢4-16-5]

**⑮戸田橋親柱** [小豆沢3-8]

昭和53年に現在の戸田橋に架け替えられる前の東京側の親柱。左の親柱背面には銅版が埋め込まれていて由緒と仕様が書かれています。埼玉県側の親柱は現在戸田競艇場の東側にある戸田親水公園の入口にあります。

**⑯志村一里塚** [志村1-12・小豆沢2-16]

江戸日本橋から数えて三番目の一里塚。当時の姿を残しているのは都内でも2ヶ所しかなく、国の史跡にも指定されています。

**GOAL!**  
都営三田線  
志村坂上駅